

TANO導入で 広がる 日中活動の 可能性

立川療護園はごろもの音の日中活動では、軽作業や創作、リハビリなどを通して生活能力や社会参加の力を育てています。さらに、より楽しく継続できる運動支援を行うため、デジタル運動ツール「TANO」を導入し、活動の幅の拡大と意欲向上を目指しています。

「楽しい」が「続けられる」を
生み出すデジタル支援

目次

TANOとは？

導入に至った背景と経緯

TANOの主な効果

利用者の声・様子

TANOとは？

TANOは、身体機能の維持・向上を目的としたデジタル運動支援システムです。テレビ画面の前に立つだけで、センサーが体の動きを自動認識し、楽しみながら身体を動かすことができます。

導入に至った 背景と経緯

当園では、令和6年度に「障害者支援施設等におけるリハビリテーション職員配置促進事業」を活用し、外部の作業療法士から日中活動について助言を受けてきました。その際、利用者の特徴や施設の雰囲気等を踏まえて「TANOが適しているのでは」と提案があり、“楽しみながら続けられる運動”を提供するため、「令和7年度障害者支援施設等デジタル技術等活用支援事業補助金」を活用してTANOを導入しました。

TANOの主な 効果

運動への参加意欲が向上

- ・画面の指示に合わせて体を動かすため、ゲームのように自然と集中できます。

身体機能の向上・維持に寄与

- ・全身を使う運動や反応速度を鍛えるプログラムがあり、バランス能力・下肢筋力・認知機能の維持にも効果が期待できます。

集団プログラムとしての活用

- ・複数人で楽しめるプログラムもあり、自然と笑顔や会話が生まれます。
- ・一体感が生まれ、利用者同士のコミュニケーション促進にも繋がっています。

利用者の声・様子

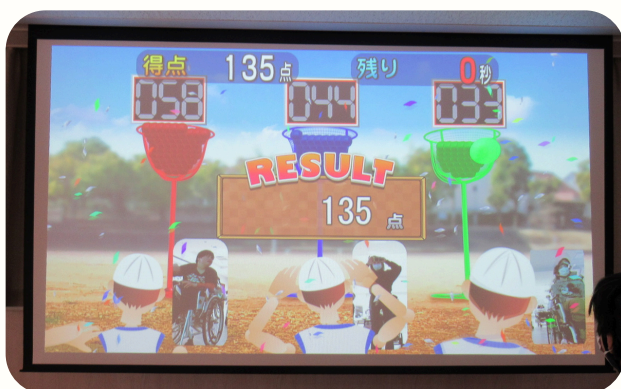
<ゲーム内容>

玉入れ

ボイスガン

楽しかった。またやりたい。

発声のゲームを特に楽しまれている様子でした。



<ゲーム内容>

名前教えて

パタカラ

他のゲームもやってみたい。

普段は下を向きがちですが、ゲーム中はしっかりと前にあるスクリーン画面を見て、動物や果物の名前を正確に答えられていました。

<ゲーム内容>

窓ふき

バスケ

卓球

まき割り

すごく運動になった。またやりたい。

ずっと笑顔で夢中になって取り組まれていました。